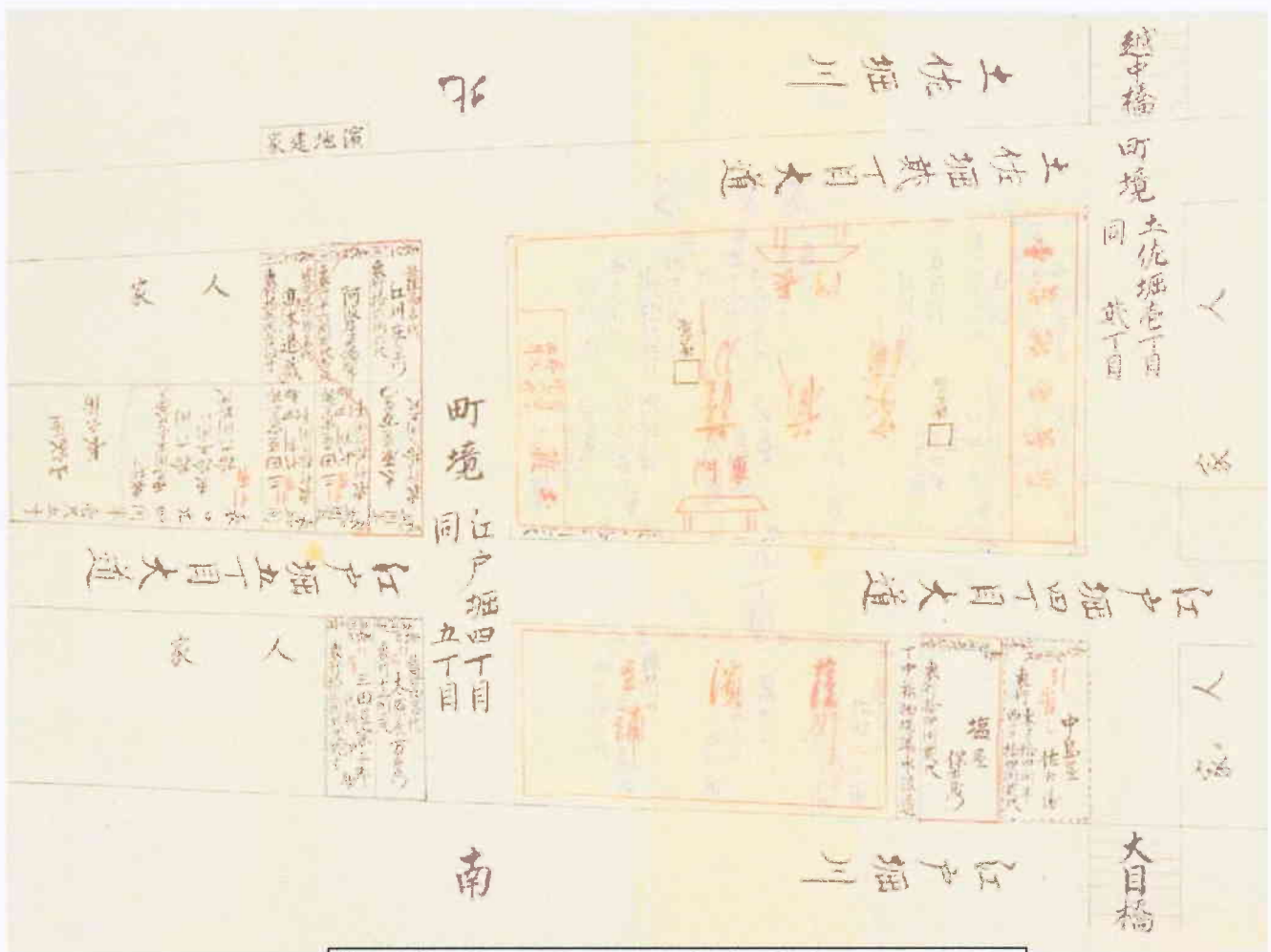
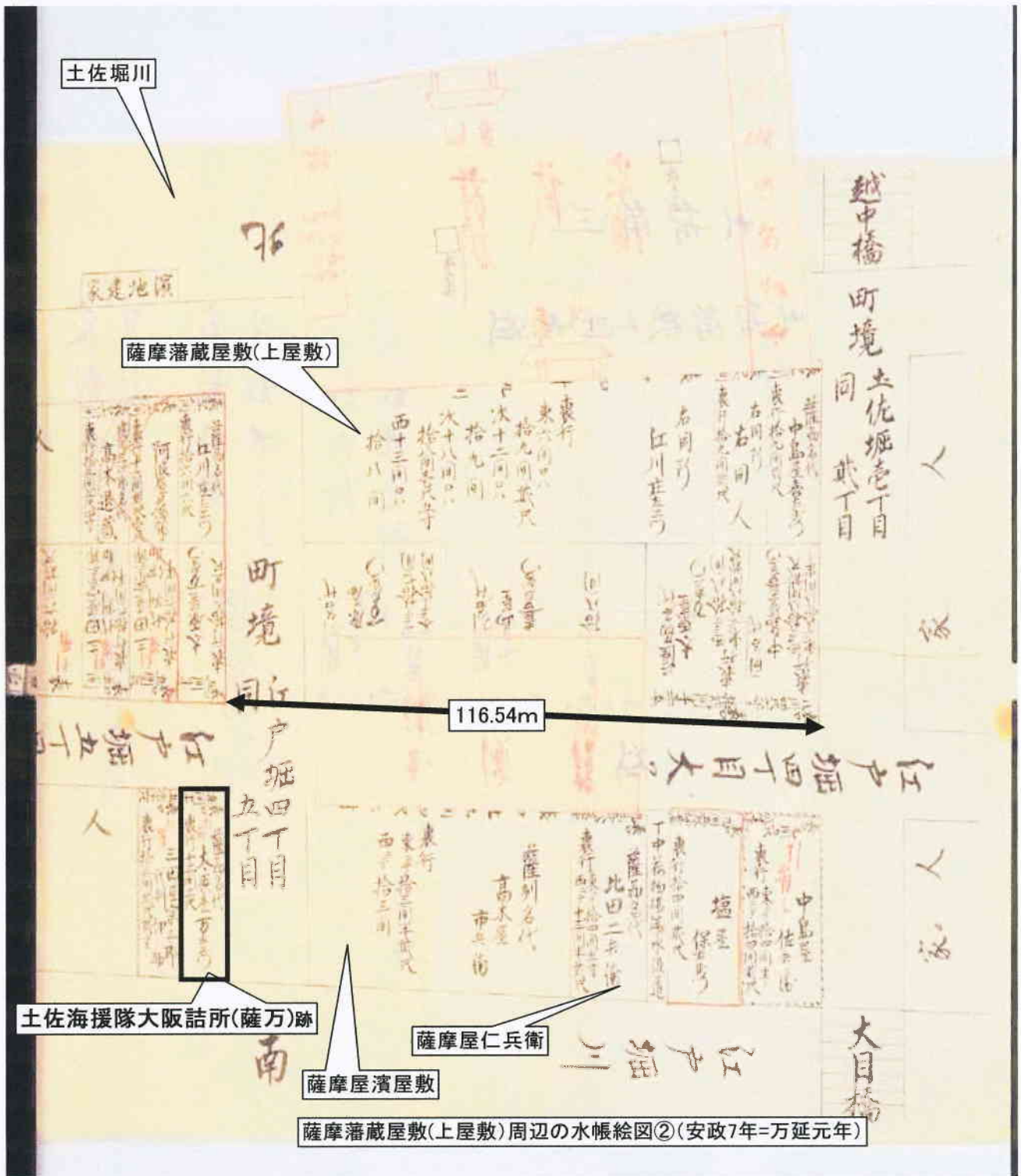




大阪市立大学「日本経済史資料室」(画像データベース)より抜粋



薩摩藩蔵屋敷(上屋敷)周辺の水帳絵図①(安政7年=万延元年)



薩摩藩蔵屋敷(上屋敷)周辺の水帳絵図②(安政7年=万延元年)



土佐海援隊 大坂詰所(薩万)に常駐した坂本龍馬の甥 高松太郎(後の坂本 直(なお))



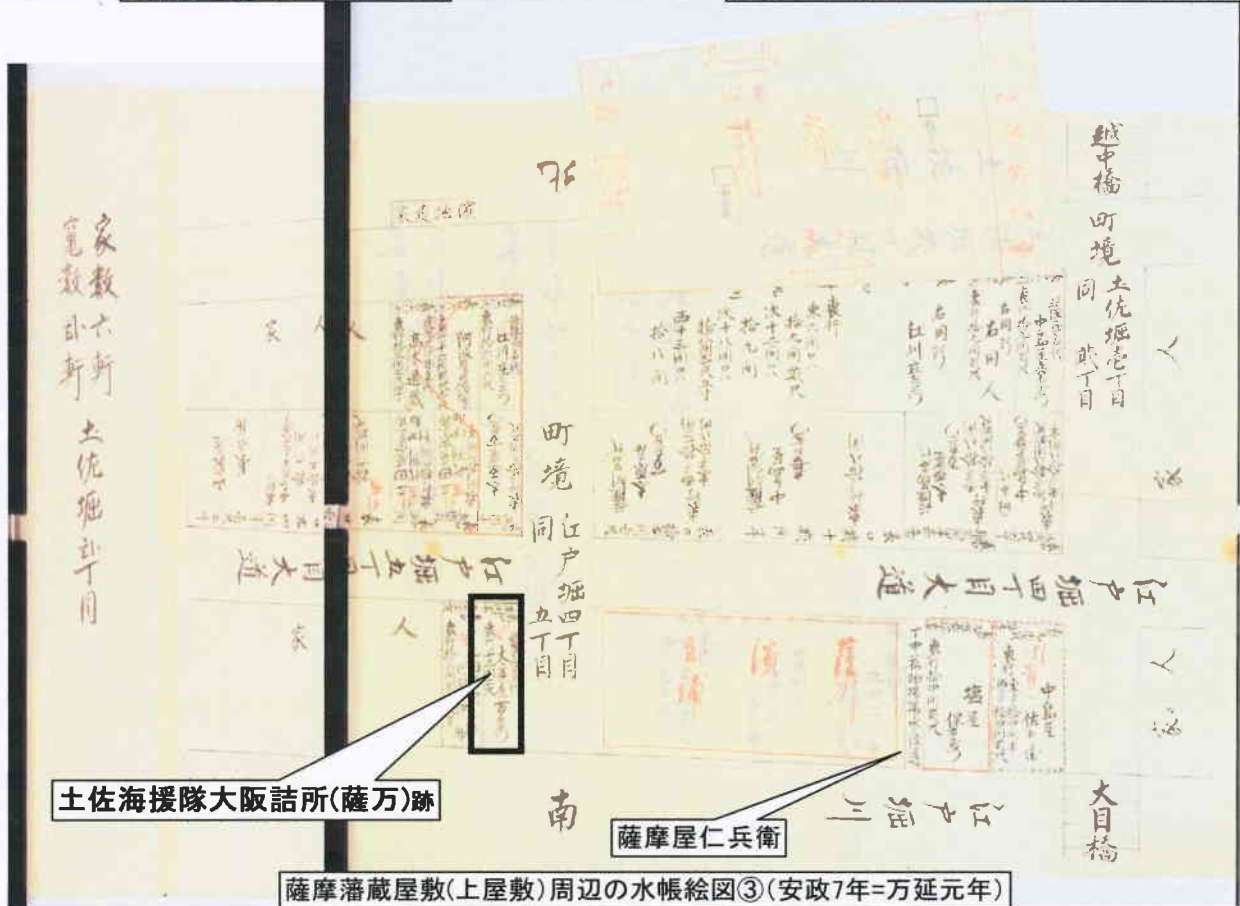
龍馬の死後、薩万に宿泊し、女将であるおりせに世話になったことがある坂本龍馬の妻 お龍



海援隊 京都詰所(酢屋)跡



海援隊 下関詰所(伊藤助太夫邸「自然堂」)跡



土佐海援隊大阪詰所(薩万)跡

薩摩屋仁兵衛

薩摩藩蔵屋敷(上屋敷)周辺の水帳絵図③(安政7年=万延元年)



海援隊旗



海援隊士の集合写真(左から3人目が坂本龍馬)

「水帳」

「水帳」は「御図帳」の当て字で、検地帳・人別帳のことを意味します。水帳絵図は水帳に基づいた現在でいう住宅地図です。

薩摩藩蔵屋敷(上屋敷)の水帳絵図 情報提供者並びにご教示いただいた方
八木氏(大阪歴史博物館学芸員)、桐野作人氏(作家)、皆川真理子氏(郷土史家)

☆ 2010年、NHK大河ドラマは「龍馬伝」です。龍馬について少しでも知識を深めていただければ幸いです

【坂本龍馬の豆知識】

①龍馬と竜馬の違い

司馬遼太郎氏の小説では「竜馬がゆく」をはじめとして他の小説でも「竜馬」と書いておられます。坂本龍馬自身が書いた手紙は「龍馬」と書いています。つまり「白浜さん」「白濱さん」、「渡辺さん」「渡邊さん」、「斎藤さん」「齋藤さん」の違いです。「龍谷大学」は「竜谷大学」と記載していません。しかし、先般、「竜馬」と記載して坂本龍馬紹介の新聞記事が記載されていました。新聞社は「できるだけ常用漢字を使用することになっているので、以後注意します。」との回答でした。固有名詞(とくに人名)は、難しい字であっても略字を使わず正式な字を使うのが当然です。司馬さんが「龍馬」とせず「竜馬」にしたのは、実像の龍馬に司馬さんの創作が入るため「竜馬」で表現したといわれています。あまりにも「竜馬がゆく」が有名になってしまいましたので「竜馬」と書いてしまう人が多いのだと思います。

②坂本龍馬の変名

幕末当時、変名を使う志士が多かったのはご存知かと思います。龍馬の変名は、「才谷梅太郎」が有名で、京都の「酢屋」さん(海援隊京都詰所跡・龍馬寓居跡)では未だに当時の龍馬を説明する際、「才谷さんは・・・」とおっしゃっています。そのほかにも龍馬は次のような変名を用いていました。「西郷伊三郎」「高阪龍次郎」「大濱濤次郎(とうじろう)」「取巻抜六」。

③神戸海軍操練所と神戸海軍塾

よく坂本龍馬関連の本で龍馬は「神戸海軍操練所の塾頭だった」というのを見かけます。神戸海軍操練所は、勝海舟が第14代将軍徳川家茂に摂海を蒸気船で案内している時、直談判で「海軍創設の必要性とその人材を育てるため、神戸に操練所を開設すべき」と訴え、家茂は即答にて承諾します。つまり「神戸海軍操練所」は幕府によって創設されたものですので、脱藩浪士は入所できません。勝海舟は大坂の寓居先である専稱寺に「大坂海軍塾(勝塾)」を開塾。龍馬は勝塾に入塾。勝海舟が神戸に拠点を移した際、自邸を設けます。勝塾も神戸に移転。勝海舟邸で「神戸海軍塾(勝塾)」が開かれます。大坂海軍塾より塾頭だった佐藤与之助(庄内藩士)が、神戸海軍操練所の教授役に抜擢。勝塾では、塾頭が空席になり、坂本龍馬が勝塾の塾頭を継ぎました。「神戸海軍操練所」と「神戸海軍塾」は別物で、ご存知の方が意外に少なく、著名な歴史作家でも誤利があるケースが多々あります。

④海援隊士と新選組隊士が斬りあった!?

実は慶応3年12月7日(西暦では1868年元旦にあたり、この日兵庫港が開港しています)、龍馬暗殺から約1ヶ月を迎えようかという時期に、暗殺者の黒幕は紀州藩三浦休太郎であるといううわさをキャッチした「いろは丸事件」の交渉で敗退した海援隊士ならびに陸援隊士が、坂本龍馬および中岡慎太郎の仇討ちをするため、三浦と警護にあたる新選組がいる京都「天満屋」へ襲撃します。海援隊・陸援隊側では真っ先に討ち入った十津川郷士中井庄五郎、新選組側では宮川信吉、舟津釜太郎が闘死。その報告を聞いた新選組近藤勇は救援隊として永倉新八、原田左之助ら14名を派遣し、途中、紀州藩の救援隊と遭遇し、互いに敵と勘違いをして斬りあったそうです。

⑤龍馬の「誕生日と死亡日」を西暦に直すと?

龍馬は、和暦にすると天保6年11月15日に誕生し、慶応3年11月15日に暗殺されます。では西暦にすると、1836年1月3日に誕生し、1867年12月10日(火)となり、満31歳で亡くなった事になります。皮肉にも龍馬が待ち望んだ「王政復古の大号令」は、西暦1868年1月3日。龍馬存命ならば、満32歳の誕生日。このうえもないバースデイプレゼントになったかもしれませんね。



坂本龍馬像(左:鹿兒島県、中:高知県、右:高知県)